

# 小石川高等学校 中等教育学校 ラグビー部

# 後援会会報

発行人  
後援会会長・川口明

Vol.10



平成19年6月24日、東京・ツヅキの如水会館でおこなわれた「小石川ラグビー部創部60周年記念式典」にて

# 新たな歴史の始まり!

# 後援会会長ご挨拶

後援会会長・昭和42年卒 川口 明

六月に行われました小石川高校ラグビー部創部60周年記念式典では、久し振りの多くの仲間に会うことができ、とても楽しく感動的な時間を過す事が出来ました。改めてラグビーの仲間の良さを感じました。校長先生にも御出席頂き、我々の置かれている状況を説明することも出来、その意味でもとても意義のある会でした。後援会の目的の一つである現役の後援については部の存続が大前提となります、存続無くしては話になりません。これからも学校と一体となつてラグビーラグビー部存続の為の活動を行つて行きたいと思っておりますので、後援会の皆様の尚一層の御協力をお願い致します。それには会費の納入です。何かの加減で会費を納入しそびれ「今までの分も」となると何となく収めづらくなつてゐる方も多いかと思います。今までの分はそれはそれで構いません。どうか、今年の分からで結構です。

それが小石川ラグビーの為になります。宜しくお願ひ致します。

話を変わりますがここで一冊の本を紹介したいと思います。中村稔著『私の昭和史』、と言う本です。中村さんは第21回府立五中卒業。即ち我々の先輩に当る人です。著者は『開拓』に詩を投稿したり編集にも携わった人で、詩人、弁護士と紹介されております。

私はどうも詩とか小説は苦手なのですが読んでいて多くの素晴らしい先輩の話が出てきて、ただだ感心しながら読み進めました。今回の式典では新しくラグビー部の応援歌が紹介されましたが、あのような素晴らしい詞を作る人がラグビー部にも居ると言うのは本当に驚きで羨ましい限りです。この本を紹介してくれたのは私が近所で月に二回、例会と称して七年前から飲み会をしている四、五人のメンバーの内のお一人です。奥様は何年か前にお亡くなりになつておられました。

6月24日に行われました、「小石川高校ラグビー部創部60周年記念式典」までの、経緯、終えての感想、報告 e t c : を実行委員会役員の方々よりいただきました！

## 参加し続けてよかつた！

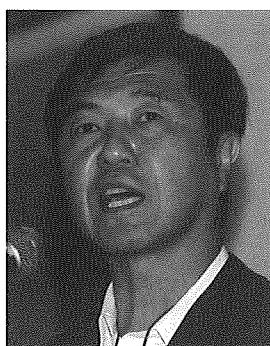
し、内容を深めていった。そして、柳川弘行（45年）、柳原義弘（46年）が加わり、会はさらに活性化していく。

ときはちょうど中高貫化でラグビー部存亡の時といわれ、「我々のすべきことは何か？」みんなの想い出を刺激し堪能できるものは何か？

そして大きな負担がなく何ができるのか？」かなりの激論を経て、内容の集約と実行委員会の組織化が計られていった。

会の半分は眞面目な会議、半分は同窓会的な親睦であったが、組織は回を重ねることに楽しく進化していった。

実行委員会の場は、伊藤陸くんがやつてゐる「むつ新」（内幸町の国際シティビルの地下2階の中華料理屋）が溜まり場となつた・・・例の小石川ラグビーソングの合唱の録音も、彼が電子オルガンをいれて「むつ新」にて行われた・・・（小さな店ですが、価値と価格がリーズナブルで気軽に楽しめます。是非あるごとに使つてあげてください）。そして、歌ができ、ジャージができ、式典の



### 追記

先日の創部60周年記念誌の挨拶文の中で小山先輩を呼び捨てにしており、これは編集時に「さん」を入れ忘れてしまったのだと思つております。ところが、自分の原稿を見るとやはり「さん」が抜けておりました。あそこは「さん」を追加してお読み下さるようお願い申し上げます、小山さんすみません。

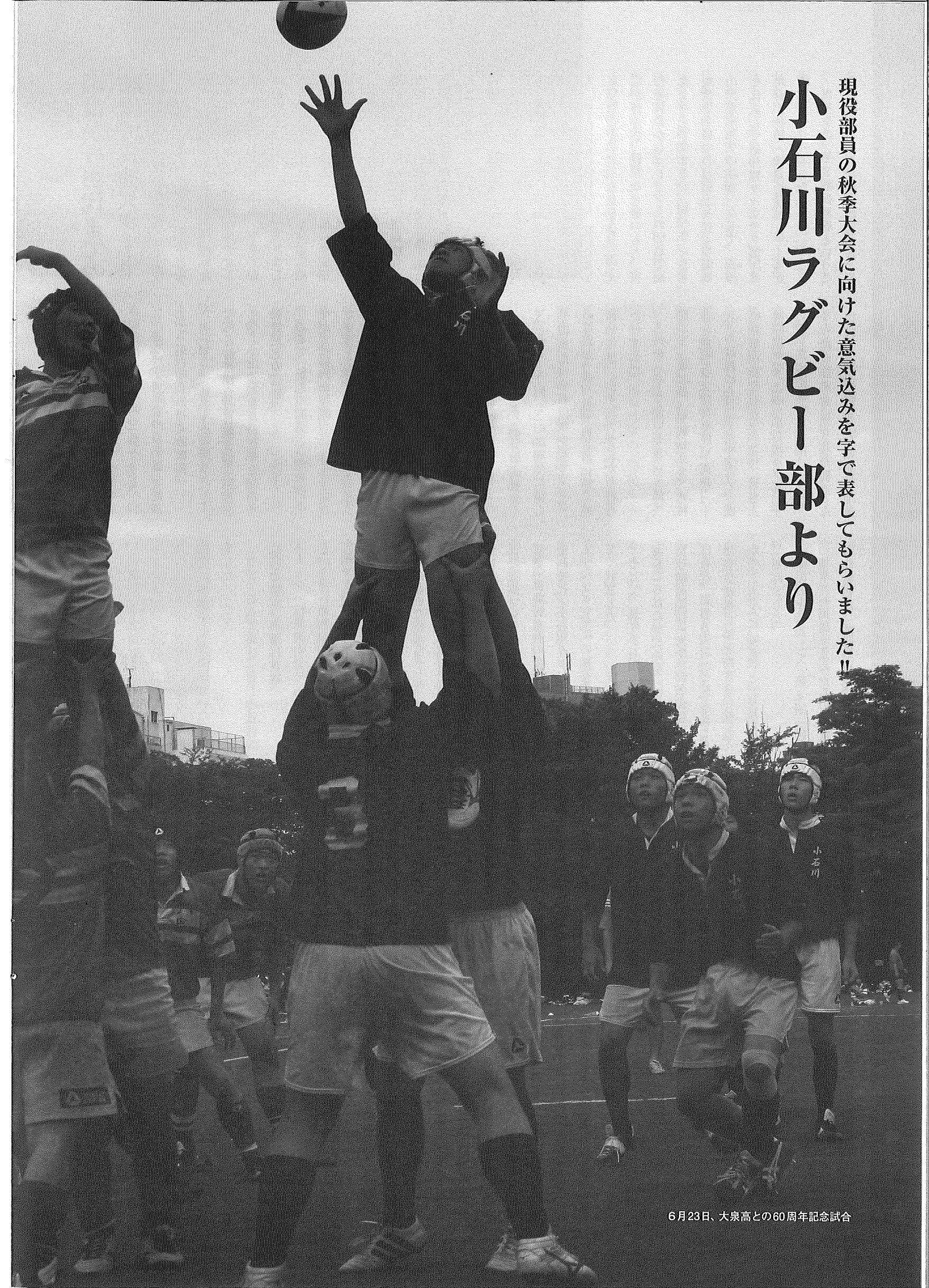
藤拓馬、南公一郎たち（平成年代）が揃つっていた。実行委員会は「入つてくるメンバー」は誰でもOKで、まずは大勢にしよう！オープンな打合せスタイルを持とう！先輩や後輩という年の支配は避け自由な論議を深めよう！50周年以上のものにしよう！そして、毎月1回は必ず会合を持つとう！」と約し、会を重ねていった。途中、川口会長、齊藤理事長、鈴木隆さん（昭和35年）田野さん（昭和39年）にも加わっていただき、過去のいきさつや貴重な意見を頂戴

# 創部60周年記念式典報告



現役部員の秋季大会に向けた意気込みを字で表してもらいました!!

# 小石川ラグビー部より



## 現役 部員

より

### 記念試合・大泉戦 をふりかえつて



渡邊孝也  
部長

今年の大泉との定期戦は、ただの定期戦ではなく小石川ラグビー部創立60周年ということで記念試合と

いうかたちでした。部員達はあまり記念試合ということは意識せず

に試合に臨んだと思います。人数が少ない代であり練習試合もあまり多く組めないため、この試合は大切なものだという意識はあつたでしょう。

現役の人数が12人。OBさんに3人加わっていただき15人制で試合を

できたのですが、結果は大敗という結果になってしまいました。BKの

ラインDFや、FWとBKの意思疎通

の甘さなどがもろに表れたのでした。前半、相手に先制されベースをつかまねながらも、FWがモールで押し込んでゲインし少し小石川にペースに持ち込みました。その後、ポイントからのハリ出しで相手のギャップをついてワインギングにボールがわたりトライをすることができました。

結局このトライだけで試合は終わってしまったわけですが、このトライはFWとBKが連携して得られたいものだったと思います。FWが必要にゲインしてベースをつかまなくては、BKがここは勝負しなくてはと、勝負を仕掛けるタイミングがFW・BKが一致した瞬間でした。トライを取るのはこういったときなのでしょう。

後半はまた相手に先にベースをつかまれてしましました。前半・後半の始まりのベースをつかめないことも大きな課題です。

記念試合だったため勝ちを収めたかったところですが、残念ながら結果はついてきませんでした。しかし、唯一取れたトライの中にFW・BKの連携が見られたことは救いです。これらの練習で連携を深めることを目指していくればと思います。

もちろん個々の能力アップは言うまでもありません。

### 夏合宿を終え 秋大会に向けて



池田勇輝  
キャプテン

最初に夏合宿中や夏の練習中に来て下さいましたOBの皆様あり

がとうございました。やはりOBの存在は大きくそこから得るものは沢山ありました。また、新たにタッ

クルダミー等を購入していただきありがとうございました。皆さんのがどうございました。皆さんの期待に応えられるよう一生懸命、努力していきたいと思います。

本題に移りますが、今回の合宿で得たことは「気持ち」です。

だから今、夏の練習を通して自力していきたいと思います。

本題に移りますが、今回の合宿で得たことは「気持ち」です。

専と千葉日大高の試合を行いましたが、どちらも惨敗でした。相手に主導権を握られ、相手の思惑通りにやられてしまいました。

自分達が下手なのか、練習が足りなかつたのか、何故勝てなかつたのか。僕はそれを考えたとき今の小

ビーをするのも限られてくるでしょう。せっかくだから楽しんで、かついいプレーをみんなで作つていければと思います。

石川ラグビー部には「気持ち」が足りないことに気がつきました。つまり勝利への執着心です。相手を圧倒する気迫、タックルにいく勇気、勝負の粘り。これらの気持ちはすべて試合に勝ちたい、負けてたまるものかという気持ちから沸いてくるものだと思います。その気持ちが僕達には足りなかつたのです。

練習への姿勢、声の大きさ、今振り返れば改善すべきところは山ほどあります。それをキャプテンとして修正できなかつた自分にどうぞ

僕がキャプテンをやれる時間も残り少なくなっています。しかし僕は悔いを残したまま引退したくはありません。仲間も同じ気持ちです。

僕がキャプテンをやれる時間も残り少なくなっています。しかし僕は悔いを残したまま引退したくはありません。仲間も同じ気持ちです。

だから今、夏の練習を通して自分達に足りなかつたところを修正しているところです。具体的には走りや筋力トレーニングを自主練習として義務化し、一人でも出来ること

で得たことは「気持ち」です。

本題に移りますが、今回の合宿で得たことは「気持ち」です。

高校2、3年、中等2年の部員17人には、春から高校1年・5人、中等1年・1人が新入部員として加入了。

新入部員さんはいちからラグビーを先輩に教わって、戸惑いながらも着実に練習に馴染んでいったようで

石川ラグビー部には「気持ち」が足りないことに気がつきました。つまり勝利への執着心です。相手を圧倒する気迫、タックルにいく勇気、勝負の粘り。これらの気持ちはすべて試合に勝ちたい、負けてたまるものかという気持ちから沸いてくるものだと思います。その気持ちが僕達には足りなかつたのです。

必ずやチーム一丸となり、技術面、精神面でも一皮剥けたチームになるのだと思います。いやなってみせます。

そして秋にはみなさんに春とは一味も二味も違った小石川ラグビー部を見せられると信じております。

秋大会、良い成績を残せるよう頑張りますので、みなさんこれからも応援よろしくお願いします。

習しています。

気持ち気持ち、というと根性論みたいなもので、技術の方が心配になるかもしれませんがしっかりとやつてあるので心配無用です。

必ずやチーム一丸となる、技術面、精神面でも一皮剥けたチームになるのだと思います。いやなってみせます。

一味も二味も違った小石川ラグビー部を見せられると信じております。

秋大会、良い成績を残せるよう頑張りますので、みなさんこれからも応援よろしくお願いします。

新入部員は着実に練習になじんでいます



西村明日美  
マネージャー

習しています。

気持ち気持ち、というと根性論みたいなもので、技術の方が心配になるかもしれませんがしっかりとやつてあるので心配無用です。

必ずやチーム一丸となる、技術面、精神面でも一皮剥けたチームになるのだと思います。いやなってみせます。

一味も二味も違った小石川ラグビー部を見せられると信じております。

秋大会、良い成績を残せるよう頑張りますので、みなさんこれからも応援よろしくお願いします。

新入部員さんはいちからラグビーを先輩に教わって、戸惑いながらも着実に練習に馴染んでいたよう

した。先輩は後輩にアドバイスをして中心となって部活を支えています。

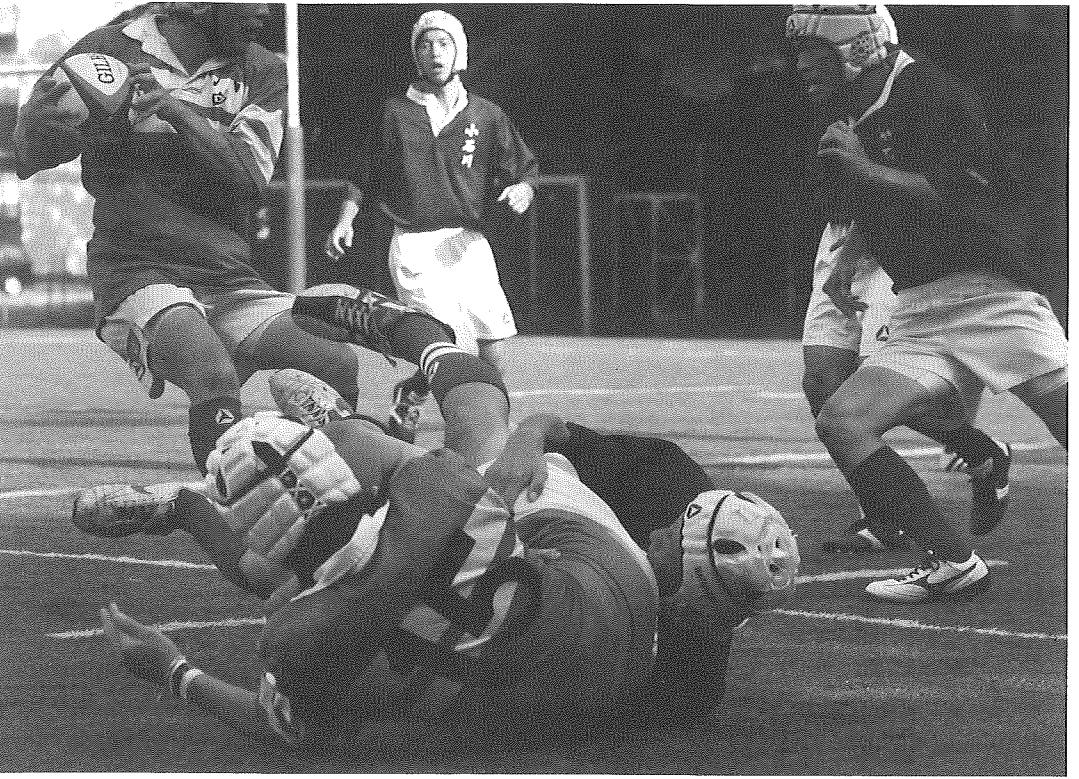
また人数が増えたことにより、全体的に練習の雰囲気が活気づいたように感じます。

同じ練習をずっと粘り強く練習したり、雨の日でも外でやったりと、いつも真剣に取り組んでいます。

合宿では、1年生を交えた15人の

チームでの練習試合は、残念な結果となってしまいました。

マネージャーは、部員さんが安全な練習ができるよう、体調やけがについて注意深く気を付けていきたいと思います。そして、万全なコンディションで秋の大会に臨んで行ってほしいと思います。



# O B コラム

昭和63年卒 中村浩一

## 今年も現役

にできることはそれだけであった。私達の高校時代、OBの先輩方が毎日のように練習に参加してくださり、アタック＆ディフェンスを練習の最後に必ず行っていた。この練習こそが、小石川高校が強豪校に対抗できた一番の要因ではないかと思う。私達より体格も経験も優れた方とのゲーム形式での真剣勝負。私はこの練習がとても楽しみであった。体格で劣る私達は、腰より上のタックルではハンドオフされてしまふ。腰より下、膝にかけて肩を当て、最後は足首をしばつて倒す。この基本を学んだ経験が、私のラグビー人生の原点であった。50㍍先のダミーにかけて全速力で走り、「このダミーを壊せ」という言葉は忘れられない。

私達の学年は先輩・後輩に比べて、後は足首をしばつて倒す。この基本を覚めた経験が、私のラグビー人生の原点であった。50㍍先のダミーにかけて全速力で走り、「このダミーを壊せ」という言葉は忘れられない。私達の学年は先輩・後輩に比べて、後は足首をしばつて倒す。この基本を覚めた経験が、私のラグビー人生の原点であった。50㍍先のダミーにかけて全速力で走り、「このダミーを壊せ」という言葉は忘れられない。

高校生活はまさにラグビー三昧だった。早朝練習でのボール磨き、休み時間の筋トレ、昼休みのBKサインプレー合わせ、そして練習：毎日が充実していた。一年生のとき、私は秋からだ。前号で、道家先輩からの紹介文に先輩の姿を見て…という記載があったが、これは私の癖だったかもしれない。

高校生活はまさにラグビー三昧だった。早朝練習でのボール磨き、休み時間の筋トレ、昼休みのBKサインプレー合わせ、そして練習：毎日が充実していた。一年生のとき、私は秋の大会で試合に出場となつた。三年生・二年生の先輩方が、リザーブである。私自身びっくりしてしまい緊張したが、日頃の練習を信じ「ボルは縦にトップスピードでもらう」とだけを考え、試合に臨んだ。私た。

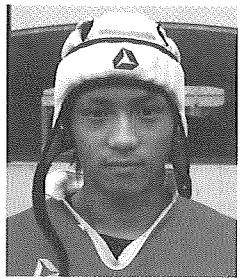


昭和63年卒の部員たち

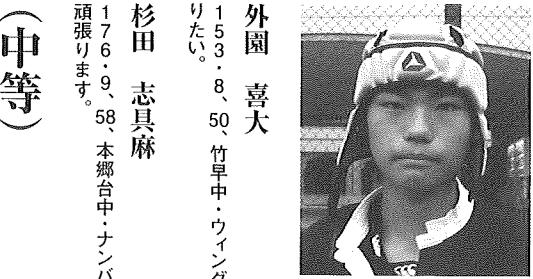
## 新人部員紹介

今春入部した期待の新人たちを紹介します！ 名前・身長（cm）、体重（kg）・出身校・希望のポジション・一言をお願いしました。

### （高校）



西 隆彰 173.8、57、松江第五中、ロック・がんばります。  
佐藤 洋平 161.8、58、金町中・ワイング・一生懸命がんばります。



外園 喜大 164.3、50、竹早中・ワイング・強くなれない。  
杉田 志眞麻 164.3、58、本郷台中・ナンバーエイト・頑張ります。  
阿部 令太郎 164.3、56、第七小・なし・もつどうまくなれるよう頑張ります。

## 秋季大会に向けて

（体育科教諭） 山田 慶永

暑い日が続く夏休みですが、部員たちは日々の練習に黙々と取り組んでいます。今年のチームは部員数が少なく実践的な練習は思うようできませんが、その中でも自分たちで工夫して実践練習を行っています。

夏合宿で練習試合を2試合行いましたが、結果は2試合ともに負けとなりました。久しぶりの15人制での試合でしたが、部員たちは思い切りの良いプレーを随所に見せていました。10人制を経験しているため、ボールを継続する力はかなりのものを持っています。あとはFWとBKの連携を強化していけば、得点能力は大幅に上がると思います。

（アメフト）で学んだタックルを強化しながらチームとしてのディフェンスを整備しています。ディフェンス力が上がってくれれば、部員たちは自信を持つて試合に臨めると考えています。ですから、夏の練習ではディフェンスの練習に時間を割いています。

1年生は初めての試合を経験しました。上級生に必死についている、

## 顧問 より

暑い日が続く夏休みですが、部員たちは日々の練習に黙々と取り組んでいます。今年のチームは部員数が少なく実践的な練習は思うようできませんが、その中でも自分たちで工夫して実践練習を行っています。

（アメフト）で学んだタックルを強化しながらチームとしてのディフェンスを整備しています。ディフェンス力が上がってくれれば、部員たちは自信を持つて試合に臨めると考えています。ですから、夏の練習ではディフェンスの練習に時間を割いています。

1年生に負けるものか」という気持ちを持って、上級生は練習に取り組んでいることだと思います。この気持ちを持ち続けて練習に取り組んでいます。今まで以上に自信を持って練習をしています。

がむしゃらにボールを追いかける姿に初々しさを感じました。夏合宿で1年生は、一回りも一回りも大きになりました。東京に戻ってから、今まで以上に自信を持って練習をしています。

<試合結果>	
・新人戦	1月14日：対 日大二高校 33-5 ○
	1月21日：対 豊島学院 ○
	豊島学院の棄権により、不戦勝。
・春季大会	4月22日：対 都立東高校 36-7 ○
	4月29日：対 合同A（関東一、都江戸川、都江北） 10-45 ×
・大泉高校定期戦（6月23日）	対 大泉高校 5-44 ×
	小石川OB対大泉OB 29-14 ○

60周年記念OB戦レポート  
いづまでも、  
いいくつになつても  
『Forever』  
昭和54年卒 渡辺 将

「暑っ」「ヤバイっすね」 東京大学駒場キャンパス内にある人工芝ラグ

ビーラグランードにやって来た小石川OBたちは、口々にそんな第一声が発せられていました。

それでもそれははず。梅雨入りして心配していたのは雨だったのに、「小石川高校ラグビー部60周年記念試合」

が裂けても言えない。現在も毎週の練習、そして年間30試合近く行つており、夏合宿は菅平で行つてゐる。試合は大会も含め真剣そのものであり、私はここで小石川高校時代に培つた「低いタックル」を日々諸先輩方にぶちましている。

「ラグビーは一度始めるよとやめられないと」言われるが、私も体力の続く限り続けていきたいと思う。

次回は私が卒業後、とてもキレイなOBたちが久しぶりにジャージを着て走るには、「最悪」といつてもいい天候でした。

しかし、そんな言葉とは裏腹に、みんなの顔は心なしか、はしやいでいるようにも見えたんです。あまりの暑さへの開き直り？ いや、そもそもそれははず。梅雨入りして現役を退いて何年もたつたOBたちが久々にジャージを着て走るには、「最悪」といつてもいい天候でした。

みんなの顔は心なしか、はしやいでいるようにも見えたんです。あまりの暑さへの開き直り？ いや、それが高校時代の仲間たちと、ということになればなおさらのこと。同世代同士でできたいくつこの輪の中では、「お久しぶりです」「な

がむしゃらにボールを追いかける姿に初々しさを感じました。夏合宿で1年生は、一回りも一回りも大きになりました。東京に戻ってから、今まで以上に自信を持って練習をしています。



# OBコラム 歴史のヒトコマ

レツサイ  
ボール・イン！

昭和31年卒岡 英夫

皆さんは「レツサイ・ボール・イン！」

という掛け声をご存知でしょうか。

私より先輩の方ならあるいはご存知かもしれません。私の現役の頃にはすでに、どの試合相手からも聞いたことのない掛け声だからです。

皆さんは「レツサイ・ボール・イン！」

という掛け声をご存知でしょうか。

私より先輩の方ならあるいはご存知かもしれません。私の現役の頃にはすでに、どの試合相手からも

聞いたことのない掛け声だからです。

ラグビーの競技規則は最近では、ほぼ毎年、どこかしら変わっていますが、私が若い時代には非常に安定していました。私の父は、東京商科大学ラグビー部の一期生で大正14年（1925）に卒業していますが、話してみると、父と私の現役時代ではルールはほとんど（あるいは、全く）変わっていました。大きく変わったのは昭和35年（1960）頃からで、その後はほぼ毎年のように変わっています。インターナショナルボードの苦悩の様子がよく分かる気がします。しかし、それは別の話。

私は高校1年2学期はじめにラグビー部に入りました。同級の坪



昭和31年卒の部員たち



昭和30年、創部以来初めておこなわれた夏合宿（長野県・白樺湖）

これはラグビーが日本に導入された後、ごくわずかな期間にしか行われなかつたようです。その後、日本ラグビー協会の機関誌「ラグビーフットボール」を読んでいたら、昔話の中に以下のような記事がありました。

「逆ヘッド」を英国人レフエリーにとがめられ、「ルールブックにはいけないとは書いていない」と言うと、「スクランムを（現在のように）互い違いに組むことはわざわざルールブックに書くまでもない常識だ」と言い返されたそうです。ラグビーフットボールという競技を糸余曲折の末にまとめてあげた本家と、上つ面しか知らないかった新参者の違いでしょうか。ちなみに、ボールをスクランムの左から入れることは現在の競技規則にも載つていません。

「レツサイ・ボール・イン」という掛け声だけは、由来は伝わらずに、その後約60年間生き残ったと言うことなのでしょう。

この夏は父の十三回忌にあたります。

小山さんはどのポジションをあてがつたらよいか迷わたることと思います。部員が少ないのだから、折角入ってきただやつを逃がすわけにはいかないのです。塊りで動くフォワードに入れればボロは目立たないと思われたのでしょうか、「スクランムセンター」を練習しろ」。フッカーのことです。

当時、フッカーは2年生のまじめな仁平さん一人で、一生懸命教えてくださいました。

「相手の胸に頭を入れてこうやってこじ上げるんだ」。うーん、胸が痛く吐き気がしました。「左からボールが入ってくるから、こう右足で投げて後ろに送るのだ。いいかい、入れるよ。…レツサイ・ボール・イン！」

後に、大先輩の颯爽とした長島さんも練習に来られて、「レツサイ・ボーイン」と言つたのか。

私はそれまでバドミントン部にいたのですが、ラグビー部に入るあたり、仲間を裏切つたような多少疚しい気持ちがしたのを覚えています。

私はキリストの十二弟子の一人、ユダは銀30枚でキリストを売つたそうですが、私はそば一杯でバドミントン部を売つたことになるのでしょうか。

さて、「レツサイ・ボール・イン！」

ひょろひょろの私を見て、監督の

「レツサイ・ボール・イン」とは言わず、単に「ボール・イン」と言つていました。父親時代にはレフトサイド・ボール・インと言つたのか。

面白い返事が返つ

だいぶ後になって

思い出したので、父に現役時代にはレフトサイド・ボール・インになつた私もそうでした。

トサカのことを「レツサイ・ボール・イン」と言つたのか。

それはなぜか、聞いてみました。

現在スクランムでは、敵味方のフロン

トロ一各3人は互いの向かつて左側から頭を入れて組み合います（念

のため、現在の競技規則に当つてみ

ました。20条スクランムの定義の中

に「双方のフロントローは交互に組み合う」とありました）。

すなわち、現在のセツスクランムを上から見た場合、フロントローは

双方互い違いに、Aチームのルーズバ

ドの右にBのタイトヘッド、次にAの

フッカー、Bのフッカー、Aのタイトヘ

ッド、Bのルーズヘッドと整然と頭が入つ

ています。ところが、父の現役時代

の競技規則にはそのような文言は

なかつたよう、法の裏をかく、と

いうテで、奇策を思いついたのでしょ



当時の小石川高校の構内

う、各チームのフロントローは対戦相手を見て、自由に頭を入れてスクランムを組んでいたようです。

たとえば、ルーズヘッドが相手の右ではなく左から胸を取るという

わけです。これを「逆ヘッド」と言つたようです。そのようにフロントローが「逆ヘッド」をとる場合、スクランムハーフもそれに都合のよい側からボールを入れるので（これはあらかじめ練習していたのでしよう）。そこで

（今回は左からボールを入れるぞ、と言つて）「レフトサイド・ボーラン・イン」と掛け声をかけたのです。

たぶん、「ライトサイド・ボーラン・イン」という掛け声も、当然あつたことでしよう。

# 小石川高校ラグビー部後援会総会・幹事会の報告

(社会人148人、大学生他23人、他に招待の現役19人が参加)

日時…平成19年8月2日(木)午後7時～9時  
場所…小石川高校 1階会議室

- 部員数の報告(高校生16人+中等教育学校生3人、うち怪我人2名)
- 夏合宿の報告ほか
- 平成18年度活動実績報告(齋藤理事長報告)
  - (1) 広報活動
    - ・会報発行(年2回)
    - ・メーリングリスト活用推進
    - ・後援会HPによる情報発信
  - (2) 現役学生活動支援
    - ・現役生への補助(ビデオカメラ購入、ダミー購入)
    - ・夏合宿対応
  - (3) その他
    - ・60周年記念式典実施(名簿・記念誌・DVD作成)
    - ・理事会開催
    - ・学年幹事制度整備維持
      - ・PRチラシ作成配布・ラグビースクール
    - ・P部(練馬R.S.、江東R.S.、ドミニコ学園)
    - ・その他1000部(公式戦観戦の父兄&OB、くんろく会メンバーの皆さん等)
    - ・会費納入促進

- 支入内訳は、年会費88万4000円(135名)、寄付19万6000円、その他2万9548円
- 支出内訳は、学生強化費8万2060円、現役保険料1万5000円、大泉定期戦11万5101円、チラシ代6万3865円、雑費他5万1371円、予算比では、28万2615円減であった。
- 支出減の要因は、夏季合宿OB補助10万円がゼロだった他、学生強化費の未消化による。

- 支入内訳は、年会費88万4000円(135名)、寄付19万6000円、その他2万9548円
- 支出内訳は、学生強化費8万2060円、現役保険料1万5000円、大泉定期戦11万5101円、チラシ代6万3865円、雑費他5万1371円、予算比では、28万2615円減であった。
- 支出減の要因は、夏季合宿OB補助10万円がゼロだった他、学生強化費の未消化による。

顧問…山田憲永先生 遠藤大輔先生

I. 議事

- ① 川口会長挨拶
- 60周年記念行事の報告 18年度活動概要報告
- ② 顧問(山田・遠藤両先生)挨拶

- 60周年記念式典決算報告(実行委員会事務総長南理事報告)
- 収入が461万5490円、支出が449万9640円で、剩余金11万5850円となつた。

- 60周年記念式典決算報告(実行委員会事務総長南理事報告)
- 収入が461万5490円、支出が449万9640円で、剩余金11万5850円となつた。

- 60周年記念式典決算報告(実行委員会事務総長南理事報告)
- 収入が461万5490円、支出が449万9640円で、剩余金11万5850円となつた。

## 支出内訳

①パーティ会場費	119万4,713円
②飲み物代	9万9,748円
③式典設備費	43万5,490円
④写真撮影	3万1,500円
⑤感謝状・記念品	10万2,950円
⑥記念誌	74万4,282円
⑦記念DVD	18万6,057円
⑧ジャージ製作費	157万5,000円
⑨運送費・事務用品費・雑費	合計 260万8,289円
	12万9,900円

- 員で承認。
- 実行委員会は、その用途について、後日報告するものとする。
- ⑥規約改正(係理事提案説明と全体討議)
  - 中等教育学校への移行に伴う名称等の条文改正 ⇒ 【了承】
  - 〈旧第1～3条〉
  - 副会長を常設し、理事会を幹事会として組織移行する。これに伴い理事長(副理事長)制を廃す。
  - 副会長は2名で、それぞれ会長より上の年代および下の年代との情報連携担当を専らとする。
  - 従来の理事長の事務行為は、幹事会事務局長が担う。
  - 理事の定員制を止め、有意の複数の学年幹事が、幹事会を構成する。
  - 幹事会は幹事会の決定権をもつのだから、総数を決めるべき。
  - 幹事会は幹事会の決定権をもつのだから、年次ごとに複数幹事とすると、60名以上になり機能しなくなるのではないか
  - 今までには、理事が限定され、その人達が忙しくて動けなくなつても、代わりがすぐ選べないことが問題だった。
  - 形式的ではなく、動ける有意の人が幹事を自由に務めることができるようになることが大事。⇒ 【年次ごとの複数幹事制度を了承】
  - 幹事会で決定した個別事項の執行は、部会
- ①川口会長挨拶
- 60周年記念行事の報告 18年度活動概要報告
- 収入内訳は、学生強化費30万円、現役保険料1万5,000円、大泉定期戦3万円、夏季合宿OB補助7万円、会報郵送費9万円、会報郵送費18万円、70周年積立費6万2,000円で、18年度実績比では、36万3,603円増。
- 予算案を全員で承認 最後に、出席者全員で、小石川ラグビーフィールドを合唱して散会した。
- ②飲み物代
- ③式典設備費
- ④写真撮影
- ⑤感謝状・記念品
- ⑥記念誌
- ⑦記念DVD
- ⑧ジャージ製作費
- ⑨運送費・事務用品費・雑費

# 東京都立小石川高等学校・小石川中等教育学校ラグビー部後援会

## 〔規約〕

### 第6条(会議)

1. 本会における会議は、総会及び幹事会の二つとし、総会はこれを定時総会と臨時総会に分ける。
2. 定時総会は、毎年1回開催し、臨時総会及び幹事会は、隨時必要なときに開催する。
3. 総会は、会長がこれを招集し、その議長となる。
4. 総会の議事は、出席会員の過半数の承認をもってこれを決定する。

### 第7条(会費及び会計)

1. 本会会員は、会費として年5,000円(学生3,000円)を本会に納入する。
2. 会費の長期未納者は、会員の資格を失うことがある。
3. 会計年度は、毎年7月1日から翌年6月30日とする。

### 第8条(決算の承認)

本会の決算については、毎会計年度終了後2ヶ月以内に決算報告書を作成し、会計監査の監査を経た上、幹事会において出席者の3分の2以上の承認を受け、本会総会の承認を得なければならない。

### 第9条(コーチ)

本会はラグビー部のコーチを推せんし、積極的に後援する。

### 第10条(付則)

1. 本規約に定めなき事項については、幹事会の議決により処理し、総会に報告する。
2. 本規約を変更・追加する場合は、本会総会の承認を必要とする。
3. 本会の略称及び本会事務局の設置場所は、次のとおりとする。

[略称] 小石川ラグビー部後援会

[設置場所] 東京都港区東麻布2-6-9

### 第11条(発効)

1. 本規約は、昭和35年7月1日より発効する。
2. 本規約は、平成19年8月2日に改定する。
3. 前号の改定に伴い、新たに就任した役員の任期については、第4条の規定にかかわらず、平成21年6月末までとする。

### 第1条(名称)

本会は、東京都立小石川高等学校・小石川中等教育学校ラグビー部後援会(以下「本会」という)と称する。

### 第2条(目的)

本会は、東京都立小石川高等学校・小石川中等教育学校ラグビー部(以下「ラグビー部」という)を積極的に後援することと、本会会員相互の親睦をはかることを目的とする。

### 第3条(構成)

本会は、次の各号に該当する者により、構成する。

1. 東京都立小石川高等学校・小石川中等教育学校在籍し、ラグビー部に所属した者を正会員とする。
2. 前項以外でラグビー部に在籍し、特に貢献したと認められた者を、総会の承認を経て準会員とすることができる。
3. 前2項以外でラグビー部に特に貢献し、総会の承認を得た者を、名誉会員とすることができる。
4. ラグビー部長を顧問とする。

### 第4条(幹事会)

1. 本会は、次の役員によって構成される幹事会をおく。会長1名 副会長2名 事務局長1名 会計監査2名 部会長3名以上学年幹事(各卒業年度より1名以上)
2. 会長、副会長、事務局長は、幹事会において推薦し、総会で承認するものとする。
3. 会長は本会を代表し、副会長は会長を補佐し、会長は会務を総理し、事務局長は会務の運営を統括する。
4. 部会は、総務・企画部会、会計・財務部会、広報部会の三つとし、部会長は、会長の推薦のもとに幹事会における互選により選任し、幹事会において決定した事項を執行する。
5. 学年幹事は、卒業年度毎に会員相互により選出し、幹事会において決定した事項の執行を補佐する。
6. 本会役員の任期は満2年とする。ただし、重任は妨げない。
7. 役員中欠員を生じた時は、これを補充する。但し、補充者の任期は前任者残余期間とする。

### 第5条(運営)

1. 本会は、幹事が本会の目的達成に必要な事項につき企画決定し、各部会がこれを運営する。
2. 幹事会は、会長の承認のもとに事務局長が招集する。
3. 幹事会の議事は、出席者の過半数をもって、これを決定する。
4. 幹事会へは委任状をもって出席に代えることができる。可否同数のときは、会長がこれを決定する。



# 平成19年度の会費納入のお願い



小石川ラグビー部をこれからも  
元気に存続させるために、より多くの会員の方の  
力を必要としています！

年会費は、社会人は5000円、学生は3000円です。  
寄付金も受けつけております。

会費の振込み方法は、以下の通りです。

①郵便局 同封の振込み用紙をご利用下さい。

②銀行 口座番号 0010000591395  
加入者名 東京都立小石川高等学校ラグビー部後援会

③銀行 店番号 559  
口座番号 0451272  
小石川高等学校ラグビー部後援会

今年、60周年を迎えた「60周年式典」も無事終了いたしました。小石川ラグビー部は、現在、15人制ラグビーをすることができるギリギリの部員数です。来年の新人戦は他校との合同チームになるかもしれません。学校は、中高一貫化2年目を迎え、生徒数はこれからどんどんと減っていきます。中等教育学校は、1学年に男子はわずか80名です。高校は来春の募集で終了します。この厳しい条件の中でも、ラグビー部を存続させるために後援会では、さまざまな活動をはじめています。

会費の振込みは、なるべく11月30日までにお願いいたします。

今年、60周年を迎えた「60周年式典」も無事終了いたしました。小石川ラグ

●編集後記

後援会が新体制となり、ほんらいなら9月末に発行予定だった会報を、第1回幹事会終了後としたため、たいへん遅くなつたことをお詫びいたします。さて、会報は広報部会が担当しています。これまでの内容の豊富さを、もっといかすために、新しいデザインにしてみました。いかがでしょうか？ 来年には、後援会ホームページも一新する予定です。ウェブデザインのできる方、会報をデザインできる方、また写真、イラスト、漫画、原稿を書いてみたい方などなど、大募集いたします。ぜひご協力ください。

編集担当・石黒将矢（平成19年卒）南公一郎（平成15年卒）村田伸一（昭和48年卒）

●各種お問合せ先

後援会会報・HP・住所変更・名簿・会費・寄付金  
「」意見などは、広報部・村田伸一までお寄せ下さい。  
住所  
〒156-0044 世田谷区赤堤5-3-8  
携帯  
090-3960-8716  
メール  
murate@rocket-punch.jp

（村田伸一・S48）

今年から、新入部員には練習用のジャージセットを後援会からプレゼントしています。山田先生・遠藤先生を招待しました。地獄の夏合宿を終えて、練習が嫌になった頃、秋父宮のナイター試合を見て、芝生の青さに目を奪われ、ラグビーの面白さを知つて退部を思ふとどまつた方も多いのではないでしようか。あの感動を、現役のみんなにも味わっていたときたくて、後援会で費用を負担いたしました。このほかにも、数々の企画を現在ねつていています。アイデア、お手伝いは隨時募集しております。ぜひ皆様の力をおかし下さい。

9月16日に秩父宮でおこなわれた、ケンブリッジ大学対早稲田大学のゲームに現役17名及び山田先生・遠藤先生を招待しました。地獄の夏合宿を終えて、練習が嫌になった頃、秋父宮のナイター試合を見て、芝生の青さに目を奪われ、ラグビーの面白さを知つて退部を思ふとどまつた方も多いのではないでしようか。あの感動を、現役のみんなにも味わっていたときたくて、後援会で費用を負担いたしました。このほかにも、数々の企画を現在ねつていています。アイデア、お手伝いは隨時募集しております。ぜひ皆様の力をおかし下さい。

## 平成19年度会費納入の方法

年会費は、社会人は5000円、学生は3000円です。

寄付金も受けつけております。

会費の振込み方法は、以下の通りです。

①郵便局

同封の振込み用紙をご利用下さい。

②銀行 口座番号 0010000591395  
加入者名 東京都立小石川高等学校ラグビー部後援会

③銀行 店番号 559  
口座番号 0451272  
小石川高等学校ラグビー部後援会



平成19年6月23日、東大・駒場キャンパス内ラグビー場でおこなわれた「小石川ラグビー部創部60周年記念試合」にて